

第5回 全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール
受賞作品 講評

このたびは、第5回を迎えた全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに、全国より1,800を超える作品をご応募いただきました。この作文コンクールは、橘前会長の熱い思いが土台となっております。ご応募いただいた児童・生徒の皆さん、そして応募に際しお力添えをいただいたご家族や学校の先生方に心より御礼申し上げます。

今回も子どもたちの若い感性が込められた素晴らしい作品が集まりました。障がいのあるご兄弟姉妹との日常的なふれあい、視覚障がいのある知人のおじいさんとのやり取り、障がい福祉事業所での職場体験や福祉の仕事に従事する両親との対話など、多様性がありました。

福祉制度は充実してきましたが、残念ながら人の命を軽んじる事件が後を絶ちません。制度と住民の心が融合した時、障がいのある人が心から尊重される社会となります。作品をお寄せいただいた多くの児童・生徒の皆さんは、将来、障がいのある方と共に生き、支え合う良き隣人となってくれることを確信します。

私が尊敬する坂村真民先生の詩をご紹介します。

「あとからくる者のために」

坂村 真民

あとからくる者のために
苦勞をするのだ
我慢をするのだ
田を耕し
種を用意しておくのだ
あとからくる者のために
山や川をきれいにしておくのだ
ああ あとから続くくるあの可愛い者たちのために
未来を受け継ぐ者たちのために
みな夫々自分でできる何かをしてゆくのだ

あとからくる者には当然ですが、多くの障がいのある子どもたちも含まれます。

次の世代にやさしさというバトンを渡すには、このコンクールは最適なものです。未来の子どもたちのために自分でできる何かを実行に移していきましょう。

最後になりますが、本コンクールの実施にあたり、例年格別のご協力をいただいております本会の地方会関係者並びに選考委員の皆様へ特別の感謝を申し上げます。

選考委員代表 井上 博

【選考委員会 委員名簿】

団体名（役職）		氏名	備考
後援団体	文部科学省 初等中等教育局（視学官）	濱野 清	
	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課（課長補佐）	福島 弘和	
	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部（部長）	佐川 英雄	
	一般財団法人 児童健全育成推進財団（理事長）	鈴木 一光	
	全国特別支援学級設置学校長協会 （会計部長）	須田 淳一	板橋区立赤塚第三中学校（校長）
	全日本特別支援教育研究連盟 （常任理事）	安川 晴信	千葉市立都賀小学校（校長）
学識経験者	ルーテル学院大学（名誉教授）	西原 雄次郎	
	岡山大学大学院 法務研究科（教授）	西田 和弘	
	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会（会長）	井上 博	